



## 4年福祉体験 手話で話そう 10/5

4年生は「福祉」（普段の暮らしをしあわせにするための活動や取り組み）を総合的な学習で勉強しています。5日は、越前市視覚障害者協会の方においでいただき、手話について勉強しました。講師の協会の会長さんは、2歳の時高熱で耳が聞こえなくなりました。ボランティアの方が会長さんの手話をみんなに通訳してくださりながら、子どもたちは手を使った音のない会話に集中して、説明を受けました。会長さんは、その手話の元になるものや形を交えてとてもわかりやすく、丁寧に手話を教えてくださいました。最後は「さんぽ」という曲を、みんなで、ボランティアの方のピアノに合わせて、手話と声と身体で歌いました。



あいさつのぐー、ちよき、ぱー。  
朝は、じゃんけんぐーの手で枕を表し起き上がる仕草から「おはよう」。昼は、チョコキの手で時計の12時を表し、「こんにちは」。そして夜は、パーの手でカーテンをしめる仕草で「こんばんは」。



手話は、手だけでなく、表情や動作もとても重要です。相手の目を見て、言葉と同じ表情で会話することは、普段の会話でも大切ですね。（くちびるの動きを読み取る読話、今はマスクをして口元が見えないので、視覚障害者の方も困っているそうです。

